

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・世界的には不安要素もあるが、国内では悪くなる要素が見つかからない。
		百貨店（販売促進担当）	・今後もインバウンド消費の拡大が続くと見込んでいる。
(東海)	やや良くなる	商店街（代表者）	・客から購買意欲が若干感じられるようになり、販売場所によっては、販売量が増加している。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・足元はプレミアム付商品券の反動で非常に悪いが、ここからは良くなっていくと期待する。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・年末年始の観光需要に加えて、伊勢志摩サミット関連の効果が期待できそうである。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・良くなっているという実感はないが、数字をみると、少しずつ良くなってきている。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・政府の経済対策等で、先行きは良くなるという期待感が強い。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・例年、年度末に向けて受注増加が見込まれる。
		百貨店（販売担当）	・ギフト需要が増える中で、自家需要も増える。下見客が多く、購買意欲は高く感じる。販売量は変わらなくても、単価アップが期待できる。
		スーパー（店長）	・客層を見極めて、価格・鮮度・品ぞろえ等ベーシックな部分をきちん行えば、客足は更に伸びる。
		スーパー（店長）	・新年度に向けて様々な動きが出る時期である。人の動きも活発になり、様々な商品も動き出すと期待をしている。しかし、商品の動きが不安定なため、値上がりしが今後も続く、また状況は変わってくる。
		スーパー（総務担当）	・ボジョレーヌーヴォーの販売数が、前年よりも良い。
		コンビニ（企画担当）	・当地域でも東京オリンピックが開催される2020年に向けて、製造業や商業での明るい話題が多い。
		コンビニ（エリア担当）	・市場の背景を読み、生活に密着したコンビニならではの商品展開で新たな客層を確保し、テレビCM等の告知を強化し、客単価の引上げと来客数の増加を目指す。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・商品が確保できれば、販売量は再び増加する。
		衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・中国人観光客が増える時期であり、国内需要もバレンタインや新入学・新社会人に対する需要が増える。
		家電量販店（店員）	・前年の消費税増税の影響から落ち込みが続いているが、来年の2～3月には少し良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・決算セールや新卒者向けの需要等で、年明けからは動きが活発になりそうである。
		乗用車販売店（従業員）	・年度末と新型車種の登場が重なり、店頭が活気付くことを期待する。高額車種を検討する客に動きがみられるので、何とか受注に結び付けていきたい。
		住関連専門店（営業担当）	・年末に入って、再来年の消費税増税の前に、建築、リフォーム、内装工事等を発注あるいは完成を目指すムードが出始めている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新年を迎えるということで、客の動きが出てくる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・ボーナスの時期でもあり、年末年始商戦に期待する。
		スナック（経営者）	・客からは、年末年始等で多少は付き合いも増えるという耳にしている。少しは財布のひもが緩めばと期待をする。
		都市型ホテル（経理担当）	・インバウンドの増加が期待できる。
		通信会社（企画担当）	・例年どおり、年末に向けては新規契約数が一層上向く。年明けも多少は好調を維持する。
通信会社（営業担当）	・今後も設備投資が必要とされ、利用者の増大も見込める。		
美容室（経営者）	・年末年始にかけて行事やイベント等が増える。ボーナスもあり、いろいろな要素が重なって、客が金を使う機会も多くなる。		
変わらない	商店街（代表者）	・消費税の再増税が実施されるかが問題になる。	
	商店街（代表者）	・前年の消費税率増税以降の客単価下落と売上低迷が続く状況は、当面変わらない。	
	商店街（代表者）	・これから景気が良くなるとは全く考えられない。これ以上悪くはないが、良くもならない。	
	商店街（代表者）	・展示会を行っても来客数、売上共に動きが良くない。歳末セールの時期となるが、今後もこの傾向は続くように感じる。プレミアム付商品券も地元の自治体のやり方では、消費促進にはつながらない。	

商店街（代表者）	・客の様子を見ていても、相変わらず必要な物以外は買わない。客単価も伸びない。イベント等を行えば来客数は増えるが、何もなときは来客数が少ない状況が続いている。
一般小売店〔生花〕 （経営者）	・しばらくは厳しい状況が続く。
一般小売店〔薬局〕 （経営者）	・年末年始に入って客の購買が増え、年金支給月でもあるので期待をしたいが、足元の落ち込み状況では、景気の先行きには期待が持てない。中身の濃いイベントを常に行う等、努力が必要である。経済政策は大企業向けの一辺倒であるが、個人商店への対策にも、もっと力を入れて欲しい。
一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	・売上は、非常に調子が良い一部の会社や客に支えられ、慎重な買い方をする一般客は少しマイナス傾向であるので、2～3か月先の状況も現状維持が見込まれる。
一般小売店〔土産〕 （経営者）	・来年は伊勢志摩サミットがあるが、短期的には観光への大きな影響はないものと思われる。
一般小売店〔果物〕 （店員）	・3か月ほどでは、現状の販売動向からは変わらない。
百貨店（売場主任）	・衣料品の購買は、まだ動きが弱く、インパウンドの売上で、前年並みの実績を維持する状況が続く。
百貨店（売場主任）	・12月はお歳暮で来客数はやや増加する。様々なイベントを行っているが、優待等があるから買うのではなく、欲しいから買うという客が多いため、購入に至るケースは少ない。高額商品の売上が減少しているので、引き続き厳しい状況が見込まれる。
百貨店（企画担当）	・11月は気温が下がらなかったので防寒関連商材の動きが鈍い。お歳暮の動きも悪く、消費者の購買意欲が高いとはいえ、今後も売上は前年を下回る傾向が続く。
百貨店（経理担当）	・12月に入り一気に冷え込めば、冬物衣料品の動きも活発化するだろうが、あまり期待できない。
百貨店（販売担当）	・再来年の消費税増税への備えや高齢化による先行きの生活への不安から、家計の支出には一層ブレーキがかかる。インパウンドを除く一般消費においては、先行きに明るさを感じることができない。
百貨店（販売担当）	・消費の二極化に暖冬も加わり、主力の衣料品に好転の兆しがみられない。高額所得者の消費は活発だが、中国経済や中東情勢等の不安要因もあり、先行きに不透明感が強い。
百貨店（経営企画担当）	・ボーナス商戦に期待をするが、主力である衣料品の不調は12月も続きそうである。動きとしては横ばいと考えている。
スーパー（経営者）	・価格が同じで容量を減らす実質値上げの食品が相次いでいる。所得が増えそうな実感はなく、消費が拡大するとは考えにくい。
スーパー（店員）	・精肉の価格がやや上昇しているのは気掛かりだが、年末に向けて、みかんの箱買い等、ふだんよりは買上げ点数が増える。
スーパー（販売促進担当）	・今年になってから11月まで、悪いままの状況で推移している。
スーパー（販売担当）	・チラシの日替セール等、安い商品は売れるが、通常価格の商品の売行きは今一つという傾向が、先行きも続きそうである。
スーパー（支店長）	・現状を打破する策が見当たらず現状維持に努めるしかない。利益を出しているのは大企業のみで、中小企業は相変わらず厳しい状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・当面は今月と同様に好調な売上が期待できる。
コンビニ（エリア担当）	・客単価は回復傾向といっても主力商品のおにぎりや弁当が伸びず、良くなっている実感はない。今後もこういった傾向がしばらくは続く。
コンビニ（商品開発担当）	・買い控えの動きは、引き続き続くと考えられる。
衣料品専門店（経営者）	・バーゲンになれば、以前のように衝動買いをする客は少ないが、商品に納得をすれば購入する客も増えてくるので、それなりに売上が増加する。
家電量販店（店員）	・4Kテレビの価格が低下している。販売台数は伸びるが価格は一層下がり、売上としてはあまり増加しないと思われる。
乗用車販売店（経営者）	・とりたてて良くなる要素も、悪くなる要素もないと感じる。
乗用車販売店（経営者）	・これから各メーカーの新型車種の発売等が控えてはいるものの、一部ユーザーの動きにしか影響はなく、大勢は変わらない。
乗用車販売店（従業員）	・先行きを楽観視するわけではないが、あまり不安感はないので、今のまま安定していくと見込んでいる。

乗用車販売店（従業員）	・新型車種の発表が控えているが、既存オーナーの掘り起こしは終わっており、現状からは新規客も期待できないため、良くなる見込みがない。	
乗用車販売店（従業員）	・年明けから1～2月までは変化はないという認識を持っており、足元の動きが続くと想定している。	
乗用車販売店（従業員）	・法人客の買換え需要は増えているが、個人客には全く景気の恩恵がみられない。軽自動車は堅調であるが、メインで保有する車の買換えの遅れが響いている。また、販売店、工場共に、他社との競争が激化しており、収益は非常に厳しい状況が続くとみられる。	
乗用車販売店（従業員）	・景気が良くなるとは思えないが、このまま、天災やテロ等の大きな問題が起こらなければ、年末年始には、悪い状態からは少し改善する。	
乗用車販売店（販売担当）	・人気の車種や新型車種の販売量は増えてくるが、在庫がないため、思うようには登録台数の伸びにつながらない。	
乗用車販売店（経理担当）	・販売台数は、足元よりは増加すると思われるが、2～3月はもともと決算セール等で販売量が増える時期であり、景気が良くなるわけではなく、大きく変わることはない。	
乗用車販売店（総務担当）	・人手不足感は出ているが所得の増加は緩やかで、景気が良くなるには、まだ時間がかかりそうである。	
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・マイナンバー制度によって、財布のひもがやや固くなる可能性がある。今年度はまだ良いかもしれないが、先々はやや厳しくなる。	
高級レストラン（役員）	・予約客の反応は、前年同月と比較して同程度であるが、この先の繁忙日を除く予約の動きは、まだ見通せない。	
観光型ホテル（販売担当）	・年末年始の支出はかなり抑えているように見受けられる。特に、2月以降の一般宴会予約は、前年同月に比べて少なく、今のところ景気が良くなりそうな要素はない。	
都市型ホテル（支配人）	・ホテルの集客はインバウンド頼みで、国内需要はあまり良くない。	
旅行代理店（経営者）	・3か月先を見通しても、景気が良くなるような材料は特に見当たらない。	
旅行代理店（経営者）	・スーパーは客を奪われる心配をしながらも生鮮品等を値上げし、消費者の節約志向は来年も続く。周囲の状況からは、少子高齢化に伴う消費減少が加速的に進んでいるように感じる。	
旅行代理店（経営者）	・行き先を十分に吟味したうえで予約する客が多いため、先行きの予約客を取り込むための見通しが難しい。海外から国内にシフトできるような対処も必要である。	
タクシー運転手	・良くなる材料も悪くなる材料も見当たらないので、2～3か月後も現状維持を見込む。	
タクシー運転手	・忘年会の時期であるが、良くなる気配が感じられない。先行きも良くなるとは思えない。	
通信会社（サービス担当）	・光回線の申込は増加するが、携帯電話の掛け放題プラン等で固定電話の需要は減っているので、新規申込よりも解約が増え続ける。	
通信会社（営業担当）	・先行きは需要期の年度末を迎えるが、前年と同様でこのままの状況では、来客数が増えるとは思えない。	
テーマパーク（職員）	・急な変化ではないので、今後も現状の傾向が続く。	
ゴルフ場（企画担当）	・2～3か月先は真冬となり、入場者数は雪等の天候次第となるが、景気としてはそれほど良くも悪くもならない。	
設計事務所（経営者）	・案件数は少なく小規模なままで、ほとんど変化はない。先行きに良くなる兆しは全くない。	
住宅販売会社（経営者）	・単価の安い商品しか売れない傾向が、先行きもまだ続く。	
住宅販売会社（従業員）	・国会が年明けからとなり政策的な動きもないため、年末に向けての駆け込み需要には期待できない。先行きも変化なく経過すると見込まれる。	
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・年末は明らかに不動産の動きが悪くなるが、年が明ければ、少しずつ動き出す方向と見込まれる。	
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・リフォーム工事の引き合いが、引き続き増えている。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・年明けは、客の動きが悪くなる。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・ふだんの飲食店への客足は、一層厳しくなっている。飲食店の景気は、更に悪くなると考える。
	百貨店（経理担当）	・企業業績に陰りがみられ、冬の賞与等、所得の改善には期待できないことから、一段と消費が冷え込む。
	百貨店（販売担当）	・クリスマス商品の出足が悪い。ハロウィンで盛り上がった分、停滞している印象である。

	スーパー（経営者）	・2月ごろは企業の稼働日数が少なく、一部を除いて全体的に緩やかな稼働状況となる。国の補正予算も春以降の実施と見込まれ、2月は景気回復の谷間の時期となる。中国経済の減速もまだ続き我が国の輸出も伸びないため、本年度の景気の底となる可能性が高い。
	スーパー（商品開発担当）	・相次ぐ競合店の出店もあり、来客数は現状より更に悪くなる可能性が高い。客単価、1品単価も今までは好調であったが、今月はやや下がったため、このままいくと厳しい状況になる。
	スーパー（営業企画）	・景気を上向かせるような要因が見当たらない。今後は消費税増税の話が増える中で、生活を防衛する意識がより一層強まるため、消費の停滞を懸念する。
	コンビニ（店長）	・客単価の下降がまだ続いている。
	その他専門店〔書籍〕（店員）	・年末年始を過ぎると、しばらく財布のひもは固くなるので、売上の面では期待ができない。
	一般レストラン（従業員）	・夏場が忙しい商売のため、寒い時期の売上は期待できない。来年は夏季オリンピックがあるが、ゴールデンタイムに放送があると大変である。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・景気が良いという声が少ないと、ネガティブな方向へ徐々に向かっていく。
	観光型ホテル（経営者）	・例年1～2月は閑散期となる。地元の経済力が徐々に落ちてきており新たな需要もない。来客数が前年比で5～10%下降する状況がまだ続く。可処分所得の向上を図るといっても、その前提となる企業収益が増えていないので、容易には実現しないと思われる。
	都市型ホテル（従業員）	・予約数から、先行きはやや悪くすると見込んでいる。
	都市型ホテル（経営者）	・インバウンドによる好調をどれくらい維持できるか不安である。
	旅行代理店（経営者）	・客の財布のひもは固いと実感している。
	旅行代理店（従業員）	・ここ1年で景気が回復しているようには実感できない。世間でも同様ではないかと感じる。
	旅行代理店（従業員）	・テロや情勢不安の影響に加え、インフルエンザ等の感染症が多くなる時期に入るので、海外旅行者は更に減少する。国内旅行も団体客が少なくなる時期で、見通しはあまり良くない。消費税率再引上げ前の駆け込み需要がどれくらい発生するかが、景気の先行きを左右する。
	パチンコ店（経営者）	・前年の消費税増税や業界全体での低単価による薄利多売傾向で、客が店を選別するようになってきている。
	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・今のまま消費税増税を断行すれば、中小企業や地方は壊滅的になる。景気に悪影響を及ぼさないよう、きちんと税収増加が見込める対策を期待する。中国経済が慢性的に悪化との報道も耳にして心配である。
	理美容室（経営者）	・客の話には景気が良くなる話題もあまりなく、来客数も少ない。
	美顔美容室（経営者）	・年内でキャンペーンが終わり、毎年、年明けから2～3か月は販売量が減少する。
	美容室（経営者）	・年末はパーマや毛染めの客で忙しくなる。その反動で2～3か月先は来客数が減る。
	美容室（経営者）	・地元からの若い女性の流出が多い。人口流出が止まらない限り、地方の景気も良くならない。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・利用者数が減少し、パート職員の賃金も引上げにくいため、将来の見通しは悪い。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・寒い季節はレンタル機器の返却が増加する。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅、リフォーム等の市場には活気がなく、先行きが不安である。
悪くなる	旅行代理店（経営者）	・景気は全体としては良くなっていない。一部の人や企業が良いただけである。年末に向けても、状況が好転するようには感じない。
	タクシー運転手	・昼間のタクシー利用は必要経費でも、夜の利用では経費に認められず、一層少なくなる。夜に使う金は余分な支出と見なされ、減らされる方向に進んでいく。
	理容室（経営者）	・客は消費税増税の話題で持ちきりである。景気が良くなるとは思えない。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・民間工事は二極化が進み、新たな受注確保に苦戦している。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）

(東海)

	窯業・土石製品製造業（社員）	・スマートフォン用部品の製造に関連して、消耗品の需要が伸び続けており、一層の受注増加が期待できる。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客の生産計画によれば、しばらくは設備投資が続く見込みである。
	金融業（従業員）	・生産量のこの時期及び先の見通しが、例年よりも比較的良さそうな感触である。
	金融業（法人営業担当）	・地元自動車メーカーの生産台数が増加する計画となっており、部品等の生産も増加する。
	企業広告制作業（経営者）	・賞与支給への期待感が大きい。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・パリのテロ事件のように、世界的にどこで何が起こるか分からない。国内も同様かもしれないのに、日本全体が安心ムードなことを危惧している。企業としては、好調であっても開発の手を緩めてはならないと考えている。
変わらない	化学工業（人事担当）	・国内だけをみれば、決して景気が悪いとは思えないが、パリのテロ事件や中国経済の減速等、海外の不安要素を考えると、しばらく景気は停滞する。
	化学工業（総務秘書）	・良くなる話題も悪くなる話題も見当たらない。我が国にとっては、来年の伊勢志摩サミットに向けて、安全対策が重要となる。
	鉄鋼業（経営者）	・希望的な受注見込みを持っているが、まだ実際の見積等の動きには至っていない。実現がもう少し先と考えると、当面はプラス要因が見当たらない。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いの動きも横ばいで、変わらない。
	金属製品製造業（従業員）	・同業他社の中には、今後の仕事量に不安を感じるとの声をちらほらと聞く。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・中国での設備投資の落ち込みが予想ほどではないので、先行きも現状維持は可能である。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、販売量も安定した推移である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・高成長は実現が困難にしても、まだ成長余地はある。世界的に紛争が広がっており、急激な環境変化にも対応できるよう意識しておく必要がある。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・先行きも変化する要素が見当たらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・製品は中国向けが多く、中国の景気次第である。年末から年度末に向けて、受注が増加するというような話はない。
	建設業（営業担当）	・関係者と話をしても、あまり変化はないと考える。
	輸送業（経営者）	・国内消費、軽油価格や海外取引の先行きの動きにおいて、大きな変化は見込まれない。
	輸送業（従業員）	・季節商材は天候により動きが変わるが、景気が上向くような要素は乏しい。燃料価格の下落に伴い、一部の荷主からは運賃値下げを要求され、運賃単価の下落が心配である。その一方で、利益が出ることによりトラックの買換えは促進される。業界としては、燃料価格の動向が最大の関心事である。
	輸送業（エリア担当）	・微増傾向は続くが、お歳暮の時期であり、先行きは同業他社の動向によって大きく左右される。
	輸送業（エリア担当）	・これまでの同じ傾向が続くと見込まれる。
	輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格が前年比で約32円下がっており、非常に助かっている。貨物の荷動きは、今一つ緩慢な状況が続いている。
	輸送業（エリア担当）	・例年通りであれば、年末は荷物の量が増え1～2月には閑散期を迎える。先の状況はまだ読み切れない部分もあるが、何か大きな動きや景気が変わるような前兆もないので、例年並みと見込んでいる。
	通信会社（法人営業担当）	・中国やアジア諸国の経済成長の減速による、我が国の景気への影響が懸念される。経済政策は力強さに欠ける。消費税の軽減税率が中身のあるものになるか不安である。
	金融業（企画担当）	・個人の資産を持たない層での自動車購入が目止まるが、消費のペースとなる給与が上がらないと、景気は更には良くならない。
	不動産業（経営者）	・客には、引き続き様子見の状況がうかがえる。
不動産業（用地仕入）	・2～3か月先の景気に影響を与えそうな要素は見当たらない。	
広告代理店（制作担当）	・企画案件等により年明けの受注量も前年同期並みにはあるが、物件によって波があるため、大きく変化する要素は見受けられない。	
行政書士	・先行きの荷物の量は現状維持である。	

		公認会計士	・円安による輸入材料のコストアップ等が収益性を悪化させている。中小企業の雇用維持が厳しい。社会保険料の企業負担が増え、人件費増加が更に収益性を悪化させている。
		経営コンサルタント	・マーケットで好調なのは、富裕層向けの物件である。一般消費者向けの物件は下落傾向が続いている。富裕層向けの物件は株価次第で、くい工事の問題も出てきたので、先行きが気掛かりである。
		会計事務所（職員）	・消費税増税はまだ先で、TPP合意による影響もすぐには表れないことから、当面は変化がない。
		会計事務所（社会保険労務士）	・客には業況の良いところが多いが、先行きに対して楽観的にはなれず、守りに入っている印象を受ける。新規に借入れるところはあまりなく、設備投資も一段落と思われる。
やや悪くなる		食料品製造業（営業担当）	・給料が下がれば節約志向が強くなり、消費を一層抑えていくため、早い時期での景気回復は見込めない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・現在は景気も良好に推移しているが、ボーナスや年末調整の時期を過ぎ、2～3か月先の景気は少し下降する。
		出版・印刷・同関連産業（代表）	・アベノミクスのトリクルダウン効果が全く感じられない。消費者の買い控え傾向は更に進み、右肩下がりで悪くなっているように感じる。
		化学工業（営業）	・競合先の売り込み攻勢により、売上と収益が減少する可能性がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・業界の台数規制等で、全体に景気が悪くなってきている。今後の設備投資も見込めないこともあり、2～3か月先の売上は期待できない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・指標となるスクラップ相場の動きや中国景気の減速から、全体的な景気は悪くなると見込んでいる。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・客の販売計画では、今月よりやや販売台数が減少する。新規投資に伴う初期ロス費用が発生するため、利益も減少傾向となる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折り込み広告の受注量が、前年同期に比べ悪くなっている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・年度末に向けて公共案件は減少してくる。
	悪くなる	建設業（経営者）	・一部の業種に限って好況であったり、同業種でも業者によって好況、不況が分かれる等、景気の状態は相変わらずまだ模様である。消費者のマインドは、依然として低下している。
雇用関連 (東海)	良くなる	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末までに採用を決定したいと考える企業が、ある程度は増えてくる。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・ターミナル駅周辺は、新ビルの開業ラッシュが続く。
		人材派遣会社（営業担当）	・例年、年明けから年度末にかけては新年度に向けた派遣スタッフの求人が伸びており、今年も同様の動きが期待される。
		人材派遣会社（営業担当）	・年末年始に向けて、多少は回復すると思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・製造業でも特定分野に限定されるが、民間航空機飛行試験の成功による航空機産業の活性化や、自動車メーカーでの開発の活性化等、明るい情報もあり景気の好転に期待したい。
		人材派遣会社（支店長）	・マイナンバーに関する業務委託や、派遣スタッフの短期的な引き合いも含めて求人が増加傾向にあり、業況はやや回復に向かう。改正労働者派遣法の施行の影響は、特になく見込まれる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・採用者数増加の動きがあるが、人材不足のため思うようには採用決定にまで至らない。景気は上向きに推移する。
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・景気が急激に良くなるとは思わないが、少しずつづつくりとは良くなっている。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・忘・新年会シーズンの繁忙期に入り良くなる見込みであるが、足元が既に良いので、状況としてはあまり変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・求人は引き続き堅調に推移するが、企業のニーズに合う求職者が不足している。
		職業安定所（所長）	・管内に航空機関連の会社があるが、足元の雇用増加にはつながらない。数年後には増えるであろうが、すぐにといいわけではないので、このまま安定した景気の動きが続く。
		職業安定所（職員）	・新規求職者の中では、在職者が前年同期よりも増加しているが、正社員採用等の条件の良い求人がなかなか増えない。
		職業安定所（職員）	・大手企業を中心に好調な業績が見込まれるが、中小企業の多い当地では、家計も含めて引き続き厳しい。中国経済減速の影響は大きいとの声も出ている。求人数は増加傾向にはあるものの、相変わらず正社員よりも販売業を中心にパートでの募集が見受けられる。改正労働者派遣法の施行に伴う派遣事業者の動きも目立っている。

	職業安定所（職員）	・中国景気の減速や中期に渡って続く円安が、県内の生産・消費にも徐々に影響し、景気回復の歩調を更に鈍化させる。
	職業安定所（職員）	・新規求人数は引き続き増加し、有効求人数も増加する方向にあるが、窓口で事業主の話を聞くと、欠員補充は急ぐものの、設備投資等に関連する新規募集は景気の動向を見極めてからという声が、少し増えている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・消費税の軽減税率の動向等によっては、消費者の意識も変化し、景気の先行きにも大きく作用する。また、中小企業の従業員を対象とする処遇改善方策の有無によっても意識は変化する。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・例年よりも会社説明会や採用試験等は頻繁に開催され、企業の採用への積極性を感じる一方で、実際の内定件数は、前年同月と比べると若干出遅れている。
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・地方の物の動きが鈍化し、企業の設備投資も少ない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・くい工事の問題も続いており、不動産業界には少なからず影響がある。パリのテロ事件の影響は、旅行業界には大打撃である。正月を前に、景気の先行きに不安の影を落としている。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は依然として高い水準を維持しているものの、企業は必要な人材を確保できない状況が続いており、今後もこの流れが続いていく。
	職業安定所（職員）	・求職者数は前年同月比で減少しているが、求人数がそれ以上に減少している。
悪くなる	-	-